

全剣連による「居合道」の「称号審査」、「錬士」に挑戦！！

関東支部 平田泰生



(1) 全剣連の「称号審査」

2025 年 11 月 20 日に、「国立武道館」で、全日本剣道連盟による「居合道」の「錬士」、「教士」、「範士」の「称号審査」が、行われました。

★「称号審査」とは？

- ①「居合道」の「称号」は、「錬士」、「教士」、「範士」の 3 種類
- ②「称号審査」は、全剣連により、5 月と 11 月の「年 2 回」実施

★「称号審査」の「受審資格」は？

- ①「錬士」は、「六段合格」後、「**1 年以上**」修練した者
- ②「教士」は、「七段合格」後、「**2 年以上**」修練した者
- ③「範士」は、「八段合格」後、「**8 年以上**」修練した者

剣道連盟の「審査」には、「昇段審査」と「称号審査」の二つがあります。

「昇段審査」は、下位者から上位者まで、全員が「受審当事者」であるため、極めて関心が高く、道場内や懇親会などで、下位者は下位者同士、上位者は上位者同士で、ノウハウを巡って、意見交換が非常に活発です。

「称号審査」は、六段以上が対象のため、「受審該当者」が、非常に少なく、道場内の話題には上りにくく、数少ない特定の「受審当事者」は、所属する支部の幹部宛てに、個別に相談しているようです。

私の場合は、2024 年 11 月 30 日に「六段審査」に合格した直後は、嬉しくて天にも昇る心境で、1 年後の「錬士」の「称号審査」に、どのように備えるか？その時には、全く予備知識もなく、思いが至りませんでした。

（２）「受審の手続き」と「審査の方法」

2025 年 5 月下旬に「全剣連会長」から、都道府県の「剣連会長」宛てに、2025 年 11 月 20 日に実施する、「称号審査の審査綱領」と「受審者募集の案内状」が、送信されました。

私は、5月末に所属する台東支部の雄山会会長の教士七段斎数真人先生から、「**称号審査の審査綱領**」と「**受審者募集の案内状**」の「コピー」を頂きました。「コピー」には、「**受審の手続き**」と「**審査の方法**」の2点が記されており、「錬士」の「受審当事者」として、何をどのようにして準備すべきか、初めて、具体的に知りました。

第一に、「受審の手続き」は？

- (1) 「受審者」は、「**受審資格の3要件**」を、満たすこと
- (2) 「受審資格の3要件」を証明する「**提出資料**」が、必要
- (3) 「提出資料」は、「**都剣連**」宛てに、郵送すること
- (4) 「提出期限」は、3か月前の「**8月20日までに必着**」のこと

★「錬士」の「**受審資格の3要件**」とは？

提出資料

- ①全剣連の「中央講習会」「1回以上」受講した者 → 「**受講証明書**」
- ②都剣連の「指導者講習会」「3回以上」受講した者 → 「**講習手帳**」
- ③都剣連の「審判講習会」「5回以上」受講した者 → 「**講習手帳**」

(都剣連の「大会審判員」を務めた回数も可とする)

第二に、「審査の方法」は？

- (1) 「錬士審査」は、「**提出論文**」を以って、審査する

(2)「錬士審査」は、「**実技審査**」は、なし

★「論文」の「テーマ」は？

①題名：「平成 19 年 3 月 14 日制定の**「剣道指導の心構え」**の要点を記し、それを踏まえたうえで、**あなたの「居合道修業」**について、述べなさい」

②用紙：市販の「400字詰め原稿用紙」

③記述：「黒のボールペン」による「直筆」

（3）「受審資格の3要件」を揃えるのに、やっとの思い

全剣連は、毎年6月に「中央講習会」を開催しますので、2025年6月20日の中央講習会の「**受講証明書**」が、「8月20日の締切日」に、間に合いました。

対して、都剣連は、8月に「指導者講習会」、9月に「審判講習会」を開催しますので、2025年の8月と9月の「両講習会の受講」は、「8月20日の締切日」に、間に合いません。このため、「五段の5年間」は、「指導者講習会」と「審判講習会」を毎年受講する必要があることを、この時になって、初めて知りました。

私の場合は、2020年2月に「**コロナ問題が発生**」したため、講習会が数年間中止になり、「五段」の5年間に、「**2回**」しか、受講できませんでした。幸

い、「四段」の時に「**2回**」受講していたこと、「五段」の時に「**大会審判員**」を務めたこと、3つを寄せ集めて「**審判講習会の受講回数**」を、やっとなこと、クリアすることが出来ました。

（４）「直筆の論文」に、悪戦苦闘！！

5月末に、論文の「テーマ」を知り、早速資料集めをしましたが、パソコンやスマホのネットには、ヒントになるような、これぞと思う情報が、見つかりませんでした。

「剣道指導の心構え」は、全く知りませんので、剣道の高段者に教えて頂き、「居合道修業」は、自身の18年間の実体験を踏まえ、毎日朝から晩まで2週間、パソコンに取り組みました。

次いで、パソコンの原稿を見ながら、黒のボールペンで、清書をしましたが、1時間も書き続けていると、緊張感が途切れて、「**誤字**」や「**脱字**」が生じて、「原稿用紙」を、何枚も何枚も、書き直すという、これが一番の苦労でした。

斎数真人先生から、「論文が出来上がったら、提出する前に見せて下さい」と言われておりましたので、「労作」の「コピー」を、ご自宅に速達で郵送。斎数先生は、パソコンのメールで、「論文の一番大事な「居合道修業」の部分が、自身の修業方法ばかり書いてあり、これでは「全然駄目」です」、「もう一度書き直して下さい」と、基礎的なご指導を頂きました。

2 回目は、パソコンの原稿を送信、「「剣道指導の心構え」に基づき、「指導者の心構え」に重点を置いて、書き直して下さい」とのご指導でした。

3 回目は、「盛沢山に書かれた内容は、①技量上達の修練、②礼法の大切さ、③心身の健康づくりの 3 点に絞りましょう」とのご提案を頂きました。

4 回目は、「指導者は、常に「コンプライアンス」と「ハラスメント」に注意する必要がある、その点も書き足して下さい」とのご指導でした。

5 回目にしてやっと、「満点には到底及びませんが、平田先生の個性が、滲み出ていますので、これでよしとしましょう」とのご指導を頂きました。

原稿が完成して、「**直筆の論文**」が、**出来上がりました！！**

懇切丁寧にご指導を頂いた、斎数真人先生に、心から感謝申し上げます。

（５）全剣連による「居合道」の「称号審査」、「錬士」に挑戦！！

2025 年 8 月 12 日に、「直筆の論文」に、「受審資格の 3 要件」の「提出資料」を添付して、「都剣連」宛てに、配達証明付きで郵送しました。

全剣連による「居合道」の「称号審査」、「錬士」に挑戦！！

しかし、2025 年 11 月 20 日の審査日が過ぎ、年末になり、正月が過ぎても、何の音沙汰もなく、全剣連 H P にも、合格者の発表がありません。

2026 年 1 月 10 日（土）に、道場で、斎数真人先生から突然、「おめ

でとう！」、「合格しました！」、「月末には、「免状」が届きます！」と、「祝福のお言葉」を頂きました。「錬士六段」になって、誇らしく、感激です！！



しかし、本当のところは、私の心の奥底には、恥ずかしながら、未だに未だ、「錬士」の「本当の意味」するところが、定かではありません。



令和 8 年 7 月 2 7 日記

※以前、平田さんからご寄稿いただいたものはこちら♪

2025 年 1 月 [居合道を続けて 17 年、全剣連の「六段審査」に、「初めて」の挑戦!!](#)

2025 年 5 月 [居合道を続けて 17 年、全剣連の「六段審査」に、2 回目の挑戦!!](#)